

8:19 イエスのところに母と兄弟たちが来たが、群衆のためにそばへ近寄れなかった。

8:20 それでイエスに、「あなたのおかあさんと兄弟たちが、あなたに会おうとして、外に立っています。」という知らせがあった。

8:21 ところが、イエスは人々にこう答えられた。「わたしの母、わたしの兄弟たちとは、神のことばを聞いて行なう人たちです。」

8:22 そのころのある日のこと、イエスは弟子たちといっしょに舟に乗り、「さあ、湖の向こう岸へ渡ろう。」と言われた。それで弟子たちは舟を出した。

8:23 舟で渡っている間にイエスはぐっすり眠ってしまわれた。ところが突風が湖に吹きおろして来たので、弟子たちは水をかぶって危険になった。

8:24 そこで、彼らは近寄って行ってイエスを起こし、「先生、先生。私たちはおぼれて死にそうです。」と言った。イエスは、起き上がって、風と荒波とをしっかりとつけられた。すると風も波も治まり、なぎになった。

8:25 イエスは彼らに、「あなたがたの信仰はどこにあるのです。」と言われた。弟子たちは驚き恐れて互いに言った。「風も水も、お命じになれば従うとは、いったいこの方はどういう方なのだろう。」

みことばをどのように聞くか…。それは何よりも「行う」ことです。そのような人をイエス様は「わたしの母、わたしの兄弟」と言ってくださいます。

弟子たちが嵐の中でイエス様に頼ったのは良いことでしょう。しかし、そこにイエス様がいるのに、「死にそうです」とはイエス様への信頼が足りないといってもよさそうです。

イエス様を呼び求めましょう。イエス様がおられ、問題に関わってくださいと確信したら、安心して委ねましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

